

# 『禅の里』づくり瓦版

vol. 3

## ～『禅の里』まちづくり講演会開催報告～

『禅の里』まちづくり講演会が、平成24年2月11日15時から、永平寺吉祥閣大講堂で開催されました。

福井テレビの「ザ・タイムリー福井」での当日放送の効果もあり、定員250名のところ、330名の方に講演会にご参加いただきました。

講演会では、福井工業大学吉田純一教授による「永平寺の歴史と『禅の里』まちづくり」の講演、そして永平寺、門前観光協会、福井工業大学、森ビル(株)による活発な意見交換が行われました。

開催の様子は、メディアにも多数取り上げられ、「禅の里」まちづくりの始動を、参加者のみならず、福井県全体に強く印象付ける講演会となりました。

「禅の里」まちづくり実行委員会各位をはじめ、関係者の皆様のご協力により、盛大に講演会が開催出来ましたこと、お礼申し上げます。

超満員となった『禅の里』まちづくり講演会の会場



### 講演会プログラム

1. 開会
2. 講演  
「永平寺の歴史と『禅の里』まちづくり」  
(福井工業大学 吉田教授)
3. 意見交換会
4. 閉会

### ■講演：「永平寺の歴史と『禅の里』まちづくり」(福井工業大学 吉田純一教授)

#### 1. 永平寺の歴史、永平寺大工の活躍

道元禅師は、俗塵を避けて深山幽谷の中での修理想を徹底させるため、この地に永平寺をつくったという話から始まり、永平寺の伽藍の成り立ち、建築様式についてお話をされました。

また、永平寺大工の活躍の歴史、永平寺大工が建てた永平寺の建築物や県内外の建築物の紹介をされました。

#### 2. 『禅の里』まちづくりへの提案

- 永平寺は、修行の場を求めた道元禅師の理想郷であり、豊かな自然、静かな環境を大事にすべき
- 「共同駐車場で車、バスを降り、おもてみちを歩きながら参禅する」「伽藍の中で禅の文化や歴史に触れ、寂光苑みち・やすらぎみちの散策を通して自然を味わう」というストーリーが必要である

まちづくりのテーマは

「歩いて楽しいまち、歩きたくなるまち」

そのためには…

- ①道元禅師が求めた豊かな自然に目をむけよう
- ②車の乗り入れを見直そう  
・まちの入口に共同駐車場を設けたら？(現在の町営駐車場)
- ③門前に永平寺の顔を見せよう  
・菅笠や永平寺の寺印をモチーフにした看板  
・じゅず、永平寺案内本、永平寺そば、ゴマ豆腐、特産品(にんにく)を活かしたお土産品の開発
- ④家並・景観に統一感を出そう  
・材料の色合い、軒の高さ、日よけテント
- ⑤門前大工の技を活かそう

#### 3. まとめ

4、5年先には東海北陸道と北陸道がつながり、10余年先には北陸新幹線も開通する。そういった周りの環境の変化を受け、できることから『禅の里』まちづくりをはじめてはどうか、というご提案で締めくくられました。

### ◇門前大工と永平寺の建築◇

(史料などで確認できる例)

(1)永平寺の建築

- ・山門(寛延2,1749) 玄源左衛門師福代源三郎師行・大久保市左衛門棟元・山口又左衛門信成 他
- ・僧堂(寛政8,1796) 玄源左衛門師福、大久保市左衛門喜重、山口又左衛門信行
- ・宝庫(文政5,1822) 玄之源左衛門師福、大久保市左衛門光喜、山口亦左衛門信堂
- ・勅使門(天保10,1839) 伝大久保勘左衛門



## ■意見交換会

意見交換会では、福井工業大学下川勇准教授に進行役を務めていただき、永平寺 大田大穰監院、永平寺門前観光協会 山口悦男会長、福井工業大学 吉田純一教授、森ビル株式会社 阿部浩志部長の4名の登壇者によって、『禅の里』まちづくりをテーマとする意見交換会が行われました。登壇者からの発言を紹介します。



### 永平寺 大田大穰 監院



- ・平成22年4月27日、山門下の五代杉倒木を契機に「永平寺の森保全事業」に着手しました。
- ・永平寺の森は、あって当たり前前自然ではなく、力を尽くして守らなければならない自然であり、生物多様性保護の取組をCOP11にてPRしたいと思っています。
- ・「禅の里」まちづくりは、東日本大震災発生の教訓からの地域防災事業としてのまちづくり、そして永平寺と門前とが一体となった修行道場としてのまちづくりをめざすものであると考えています。



### 永平寺門前観光協会 山口悦男 会長



- ・永平寺の参拝客が、減少を続けており、今後20年先、30年先のことを考えると非常に厳しい状況になるように思えます。
- ・昔から年間を通じて様々な行事を行ってきており、今現在も多く残っています。(釈尊涅槃会、花祭り(釈尊降誕会)、報恩授戒会等)
- ・観光協会としては、大晦日の除夜の鐘のイベント、5月上旬の花まつり、桜植樹、さらに秋に吉峰寺から大仏寺山、永平寺へと道元禅師の足跡を偲んで歩く祖跡コースのウォーキング等に携わってきています。
- ・本山と門前との係わりはたくさんありますが、これからも永遠に続いていくことだと思っています。

- ・「禅の里」まちづくりプロジェクトでは、門前町、信徒の皆さんと一緒に永平寺について勉強し、次世代に希望をもってバトンタッチしていきたいと思っています。
- ・3月末には、門前町の商店のファザード整備が終わる予定でまちなみがよくなりますが、いっぺんにはできない部分もあり、長い年月をかけながらより良い趣のあるまちなみを作りたいと考えています。

### 森ビル株式会社 阿部浩志 部長

- ・禅の里を考える際の参考として、森ビルが街づくりに取り組むにあたって重視する5つの基本的考え方とキーワード(垂直庭園都市、都心居住、文化都心、逃げ込める街、アジア・ヘッドクォーター)の紹介がありました。



## 福井工業大学の学生によるまち歩きの報告 下川勇准教授

- ・平成23年11月20日に門前町のまちを歩き、学内での意見交換会を行い調査報告にまとめました。
- ・良い場所としては、歴史的雰囲気やおもてなしが感じられる門前の町並み、寂光苑や永平寺川周辺に見られる美しい自然などがあります。
- ・良い人としては、門前でおせんべいをおばちゃんなど、地域の人々の温かさが感じられます。



## ■閉会挨拶 禅の里委員 山口権悟さん

### 永平寺・門前まちとのかかわりが密に...

- ・永平寺より、一緒にまちづくりについて考えないかとお声をかけていただき大変ありがたく思っています。
- ・まちづくりを通じ永平寺やまちの方と話す機会が増えました。

### 永平寺のよさを改めて実感！！

- ・永平寺に参拝する方は永平寺と商店街と自然環境が一体となった場所にきて初めて良かったと感じると思います。
- ・私達は環境に恵まれすぎて気づかなかった自然のすばらしさを福井工業大学の先生、学生方から学ぶことができました。

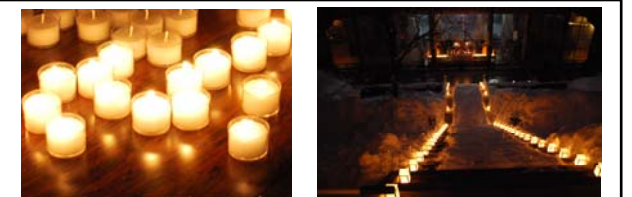


### これからの『禅の里』まちづくりに注目！！

- ・今後、自分達が頑張って、癒しの空間やほっとする場所など、観光客の方に気持ちよく参拝していただけるようなまちにしていきたいと思っています。
- ・これから、まちが変わっていく姿を、本日来ていただいた皆さんに是非見ていただきたいと思っています。

## ■東日本大震災追悼 万灯供養

- ・講演会終了後、東日本大震災の被災者を追悼する万灯供養が行われました。



## ■永平寺参道、門前町を照らす燈籠、雪だるま

- ・雪の影響により冬の燈籠祭りは中止になりましたが、門前や参道には様々な雪だるまや燈籠が設置され、参加者の目を楽ませました。
- ・講演会参加者には、門前のお店で500円分の割引サービスが受けられるICカードが配布され、講演会後の買い物に利用していただきました。



門前のお店で利用できるICカード



龍門からの幻想的な燈籠の灯



様々な雪だるまや燈籠が門前町を照らしました